

はくぶつかん

1976.10.1

平塚市博物館



● これからの博物館 ●

「この博物館は遊び場ですか」、博物館学を学ぶ学生からの問いかけである。よその博物館と比べて奇異にうつららしい。ムリもない。それでよしとしているわけではない、かといって、いままでのいき方を踏襲していくつもりもない。地域博物館はこれからの世界である。いろいろと悩み、試行錯誤をくり返しなが、新しい方向を見定めていかなければならない。「じやりつ子博物館」の名を甘んじておうけしよう。自分の異質性に気づくとき、底辺は大きく広がる。きびしい姿勢で臨みながらも、私はそれを待つ。(山)

10月行事

3

自然を調べる会

「クモの観察」雨天中止

9

月例講演会

「平塚の植物」 守矢淳一先生

午後2時 講堂入場自由

中学校生徒社会科作品展示会

中学校生徒社会科作品展示会

12

16

古文書講読会

23

古文書講読会

＝11月行事予定＝

7

自然に親しむ会

「岡崎周辺で秋の草花やローム、それに夕方ねぐらに入るムクドリの大群を観察します。」

13

古文書講読会

27

古文書講読会

星を見る会

「よいの明星(金星)を観察します。」

27-28

体験学習シリーズ5

「和紙を作ろう」

30

星を見る会

●体験学習シリーズ5「和紙を作ろう」●

博物館では毎月1回、科学教室で身近な物で何かを作ろうと題して、体験学習を行っています。

10月は、シリーズ5回目として和紙を作ってみたいと思います。

▶ 10月27日、映画と講演によつて、紙の出来までと、紙の特性などについての紙に対する基本的理解を深める。

▶ 10月28日、紙すきの実演と講習

秋期特別展のお知らせ

テーマ 発掘への招待1 相模川流域の縄文時代
期間 11月5日～12月12日

市内岡崎上ノ入遺跡の発掘調査資料を中心として、相模川流域の縄文時代を展示します。特別展に関連して、次の行事を予定しています。

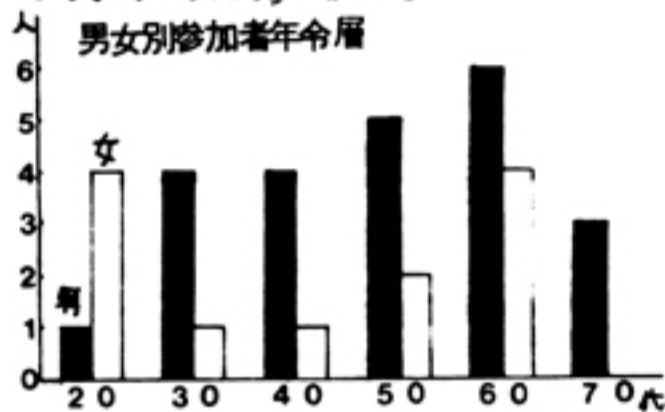
●講演会 11月21日と12月5日

●スライド映写会 11月7日と27日

「地方史研究入門」から

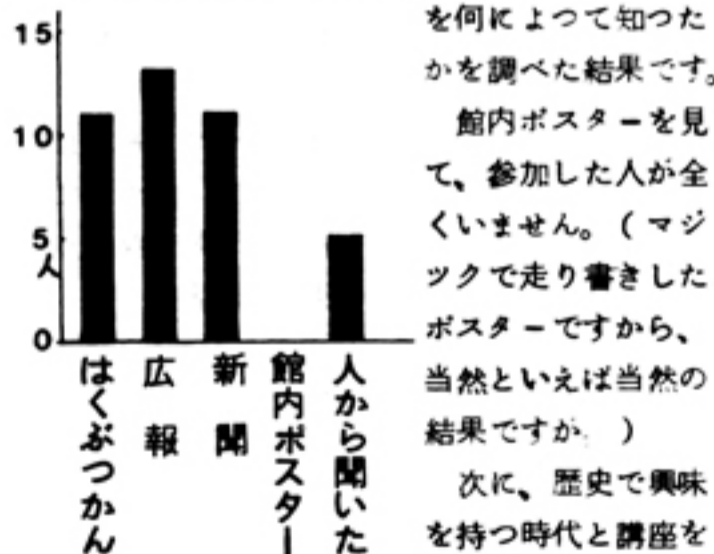
地域の歴史を身近なものに、をテーマにして連続3回の地方史研究入門は、延110余名の参加をえて、無事終了する事ができました。市内に残る江戸時代の史料をテキストにしたこの講座は、参加された方達に色々な問題を投げかけたと同時に、この会を企画した側にも様々な問題を提起している様に思われます。以後、このような企画を通して問題を解決していきたいと思つています。

まず、下の表を見て下さい。



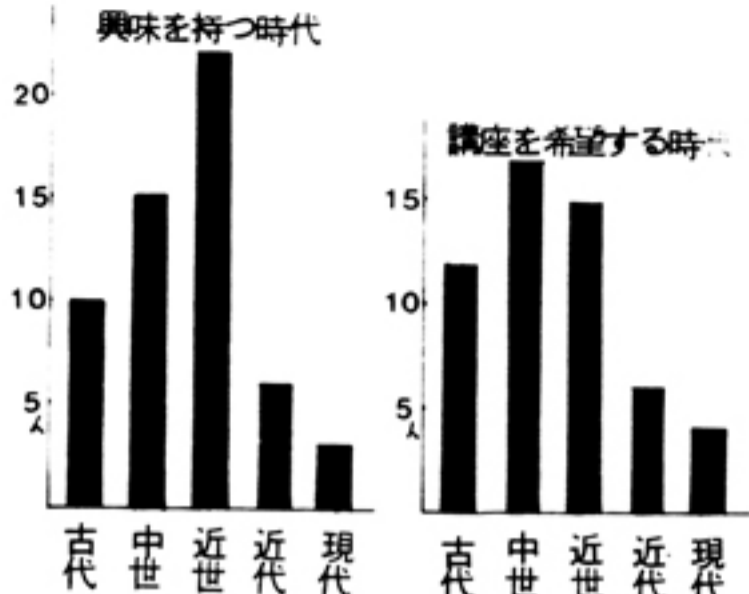
男性23名、女性12名の総数35名、50代以上の参加者が過半数を占め、比較的若い20・30代の方は全体の3割にも達していません。(これは何故でしょうか。難問その1)

講座を何んで知ったか



左の図は、この会を何によつて知ったかを調べた結果です。館内ポスターを見て、参加した人が全くいません。(マジックで走り書きしたポスターですから、当然といえば当然の結果ですが。)

次に、歴史で興味を持つ時代と講座を希望する時代の比較をしてみました。その結果は近世以前の歴史に興味を持ち、その講座を希望する人が圧倒的多数を占めている事です。近・現代史に興味を持ち、その講座を希望する人の少ない現象をどう解決したら良いでしょうか。また近世



以前、古代・中世に対する興味にどれだけ応える事が、今後の活動で約束されるのでしょうか(難問その2)

そこで、参加者の生の声を二・三ご紹介します。

- 庶民の本当の歴史が知りたい。(69才男)
- 興味ある講座でしたが、より発展させて深い話を伺いたい。(56才女)
- 3回とも1つのテーマで話しを行つたら。(30才女)
- 研究する機会も欲しい。(32才男)
- 研究成果を一般のものとするために博物館の活躍を期待する(33才男)＝大変ですね。＝

参加者名

井上貞子・井上芳子・福島きよ子・根岸秀行・中戸川君子・中村紀夫・塩谷兼四郎・山津久志・人見重一・白井維雄・江川英男・島津みつ・中村久治・小島ひろ子・陶山正史・大橋マサ子・落合真理子・守永隆一・進藤文夫・高橋正二・新藤薫・松村鉄心・石黒正三・金野三治・寺山まさ・川島元信・檜崎寛・杉崎正雄・永田正吉・成松正夫・茂木哲夫・森住秋三・牧喬・鈴木勲男・大木アキ・佐藤美智子・西村清・杉崎力・三村和子・加藤芳枝・谷口得二・平山・鈴木 (敬称略)

はくぶつかん VOL1 NO6
 昭和51年10月1日 通巻6号
 発行 平塚市博物館
 〒254 平塚市浅間町12-41
 TEL 0463-33-5111
 印刷 平塚市総務部行政課文書係
 ©1976